



# 平成30年度 北上市普通会計決算の概要

 **北上市** KITAKAMI CITY

令和元年10月 財務部財政課

## 目 次

|    |                         |    |
|----|-------------------------|----|
| 1  | はじめに                    | 1  |
| 2  | 平成30年度普通会計の予算及び決算       | 1  |
| 3  | 決算の状況                   | 2  |
| 4  | 歳入の状況                   | 4  |
| 5  | 歳出の状況                   | 6  |
| 6  | 基金の状況                   | 8  |
| 7  | 市債の状況                   | 9  |
| 8  | 財政指標の状況                 | 10 |
| 9  | 平成30年度県内各市歳入・歳出の状況      | 13 |
| 10 | 平成30年度県内各市基金・市債・財政指標の状況 | 19 |

## 1 はじめに

地方公共団体の会計には、基本的な会計の「一般会計」と、特定の目的のための会計の「特別会計」がありますが、国は各地方公共団体の財政状況を一定の基準で比較するため、統計上の一定のルールを設けており、これを「普通会計」と呼んでいます。

普通会計は、一般会計と一部の特別会計により構成されるルールとなっており、北上市の普通会計は、一般会計と土地取得特別会計で構成されています。

ここでは、この普通会計の計数に基づき、決算の概要について説明をします。

## 2 平成30年度普通会計の予算及び決算

### (1) 普通会計の予算について

平成30年度の普通会計の予算は、当初予算編成後に発生した財政需要に対応するため、計9回の補正予算編成を行いました。

当初予算額39,910,000千円に、平成29年度から繰越された予算額1,157,310千円と補正予算額2,328,548千円を加えた最終予算額は43,395,858千円となりました。

(単位：千円)

| 予算種別<br>会計種別 | 当初予算額<br>A | 繰越予算額<br>B | 補正予算額<br>C | 最終予算額<br>A+B+C |
|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| 一般会計         | 39,910,000 | 1,157,310  | 2,328,548  | 43,395,858     |
| 土地取得特別会計     | 5,653      | 0          | 0          | 5,653          |
| 純計 (※1)      | 39,915,653 | 1,157,310  | 2,328,548  | 43,401,511     |
| 普通会計 (※2)    | 39,910,000 | 1,157,310  | 2,328,548  | 43,395,858     |

### (2) 普通会計の決算について

予算現額43,395,858千円に対して、歳入決算額は39,850,806千円となり、差引額は3,545,052千円、歳出決算額は38,926,341千円となり、差引額は4,469,517千円となりました。

予算現額に対する決算額の割合である執行率については、歳入が91.8%、歳出が89.7%となりました。

(単位：千円)

| 項目<br>項目 | 予算現額<br>A  | 決算額<br>B   | 差引額<br>A-B | 執行率<br>B/A |
|----------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入       | 43,395,858 | 39,850,806 | 3,545,052  | 91.8%      |
| 歳出       | 43,395,858 | 38,926,341 | 4,469,517  | 89.7%      |

#### 【用語の解説】

※1 純計：対象となる会計を単純合計した金額

※2 普通会計：対象となる会計内の内部取引額を相殺した金額

### 3 決算の状況

#### (1) 総括

(単位：千円)

| 区分 \ 年度         | 説明             | H26        |          | H27        |        | H28        |         | H29        |         | H30        |        |
|-----------------|----------------|------------|----------|------------|--------|------------|---------|------------|---------|------------|--------|
|                 |                | 金額         | 伸率       | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率      | 金額         | 伸率      | 金額         | 伸率     |
| 歳入総額            | A              | 40,375,179 | 0.1%     | 38,649,947 | -4.3%  | 36,825,934 | -4.7%   | 38,077,514 | 3.4%    | 39,850,806 | 4.7%   |
| 歳出総額            | B              | 39,374,781 | 1.4%     | 37,613,409 | -4.5%  | 36,373,350 | -3.3%   | 37,622,823 | 3.4%    | 38,926,341 | 3.5%   |
| 歳入歳出差引          | C<br>(A-B)     | 1,000,398  | -32.5%   | 1,036,538  | 3.6%   | 452,584    | -56.3%  | 454,691    | 0.5%    | 924,465    | 103.3% |
| 翌年度繰越財源<br>(※1) | D              | 366,951    | -48.6%   | 674,277    | 83.8%  | 140,636    | -79.1%  | 65,166     | -53.7%  | 411,441    | 531.4% |
| 実質収支            | E<br>(C-D)     | 633,447    | -17.7%   | 362,261    | -42.8% | 311,948    | -13.9%  | 389,525    | 24.9%   | 513,024    | 31.7%  |
| 単年度収支<br>(※2)   | F              | △ 136,251  | -67.4%   | △ 271,186  | 99.0%  | △ 50,313   | -81.4%  | 77,577     | -254.2% | 123,499    | 59.2%  |
| 積立金             | G              | 646        | -96.1%   | 803        | 24.3%  | 741        | -7.7%   | 985        | 32.9%   | 1,459      | 48.1%  |
| 繰上償還金           | H              | 2,239,900  | 578.8%   | 681,133    | -69.6% | 34,000     | -95.0%  | 0          | -100.0% | 0          | ---    |
| 積立金取崩額          | I              | 0          | ---      | 0          | ---    | 0          | ---     | 0          | ---     | 0          | ---    |
| 実質単年度収支         | J<br>(F+G+H-I) | 2,104,295  | -3062.1% | 410,750    | -80.5% | △ 15,572   | -103.8% | 78,562     | -604.5% | 124,958    | 59.1%  |

【歳入総額】 地方交付税（▲233,974千円）及び都道府県支出金（▲54,175千円）が減少した一方、地方税（+290,327千円）、国庫支出金（+163,903千円）、繰入金（+270,493千円）及び市債（+988,200千円）の増加等により、歳入全体で前年度と比較して1,773,292千円の増となった。

【歳出総額】 扶助費（▲172,260千円）及び公債費（▲788,705千円）が減少したものの、投資的経費（+725,911千円）、物件費（+240,935千円）、補助費等（+272,025千円）及び積立金（+1,035,001千円）が増加し、全体で1,303,518千円の増となった。

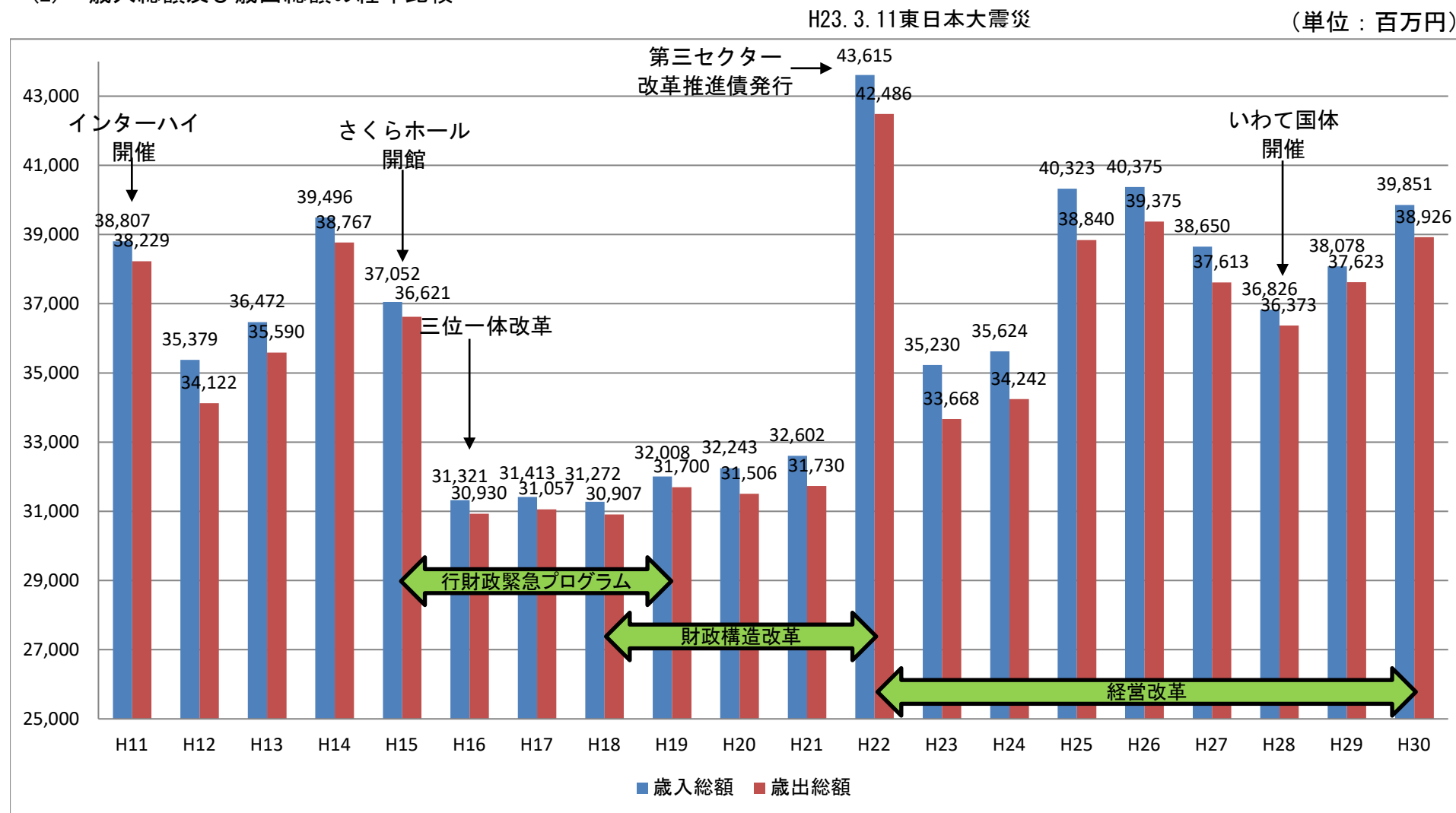
【収 支】 歳入歳出差引額924,465千円から翌年度繰越財源411,441千円を差し引いた実質収支額は513,024千円となり、この当年度実質収支額から前年度実質収支額389,525千円を差し引いた単年度収支額は123,499千円となりました。

#### 【用語の解説】

※1 翌年度繰越財源：事業を翌年度に繰り越す際に、その事業を行うのに必要となる財源

※2 単年度収支：当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた金額

## (2) 歳入総額及び歳出総額の経年比較



平成3年の合併以来、インターハイの開催やさくらホールの建設等の大きなプロジェクトに取り組んできたが、そのことによる公債費の負担増大や、合併算定替えの終了及び三位一体改革に伴う地方交付税の削減等への対応が必要となり、平成15年に行財政改革緊急プログラムのほか、計3回の行政改革を実施し、安定した財政運営を行ってきた。

## 4 歳入の状況

### (1) 歳入決算の経年比較

(単位：千円)

| 区分                      | H26        |        | H27        |        | H28        |        | H29        |       | H30        |       |
|-------------------------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|-------|------------|-------|
|                         | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率    | 金額         | 伸率    |
| 地方税                     | 12,989,004 | 0.7%   | 13,121,776 | 1.0%   | 13,477,360 | 2.7%   | 13,555,556 | 0.6%  | 13,845,883 | 2.1%  |
| 地方譲与税等 (※1)             | 1,912,035  | 5.2%   | 2,599,279  | 35.9%  | 2,369,127  | -8.9%  | 2,557,497  | 8.0%  | 2,670,666  | 4.4%  |
| 地方交付税 (※2)              | 8,163,179  | 25.7%  | 6,677,849  | -18.2% | 6,271,368  | -6.1%  | 5,840,833  | -6.9% | 5,606,859  | -4.0% |
| 国県支出金                   | 7,972,398  | -9.3%  | 8,533,293  | 7.0%   | 7,654,615  | -10.3% | 8,191,106  | 7.0%  | 8,300,834  | 1.3%  |
| 地方債 (※3)<br>(臨時財政対策債以外) | 1,040,900  | -2.1%  | 1,251,100  | 20.2%  | 1,368,000  | 9.3%   | 1,956,500  | 43.0% | 2,837,100  | 45.0% |
| 臨時財政対策債 (※4)            | 1,583,300  | 1.3%   | 1,368,900  | -13.5% | 983,000    | -28.2% | 1,092,400  | 11.1% | 1,200,000  | 9.8%  |
| その他                     | 6,714,363  | -12.7% | 5,097,750  | -24.1% | 4,702,464  | -7.8%  | 4,883,622  | 3.9%  | 5,389,464  | 10.4% |
| 合計                      | 40,375,179 | 0.1%   | 38,649,947 | -4.3%  | 36,825,934 | -4.7%  | 38,077,514 | 3.4%  | 39,850,806 | 4.7%  |

【地方税】 固定資産税滞納繰越分 (▲11,514千円) 等が減少したものの、法人市民税現年課税分 (+164,002千円)、個人市民税現年課税分 (+113,623千円) などの増で、全体で290,327千円の増となった。

【地方譲与税等】 株式等譲渡所得割交付金 (▲9,310千円)、配当割交付金 (▲4,267千円) などが減少したものの、地方譲与税 (+4,743千円)、地方消費税交付金 (+108,402千円)、地方特例交付金 (+9,564千円) の増加等により、前年度と比較して113,169千円の増となりました。

【地方交付税】 特別交付税 (+101,073千円) が増加したものの、普通交付税 (▲310,684千円)、震災復興特別交付税 (▲24,363千円) の減で、全体で233,974千円の減となった。

【国県支出金】 臨時福祉給付金給付事業費補助金 (▲219,555千円)、衆議院議員選挙委託金 (▲34,950千円) などが減少したものの、社会資本整備総合交付金 (+608,401千円)、児童保護入所費負担金 (+102,579千円) の増加などにより、前年度と比較して109,728千円の増となりました。

【地方債】 国営農業基盤整備事業債 (▲257,500千円) 等が減少したものの、道路整備事業債 (+690,700千円)、道路整備事業債 (繰越明許分) (+257,300千円) などの増で、全体で988,200千円の増となった。

#### 【用語の解説】

※1 地方譲与税等：国や県が市町村に代行して徴収している税を、市町村に配分するお金 (①地方譲与税、②利子割交付金、③配当割交付金、④株式譲渡所得交付金、⑤地方消費税交付金、⑥ゴルフ場利用税交付金、⑦自動車取得税交付金、⑧地方特例交付金)

※2 地方交付税：国が国税を財源として、市町村の財政力に応じて一定の基準により、市町村に交付するお金

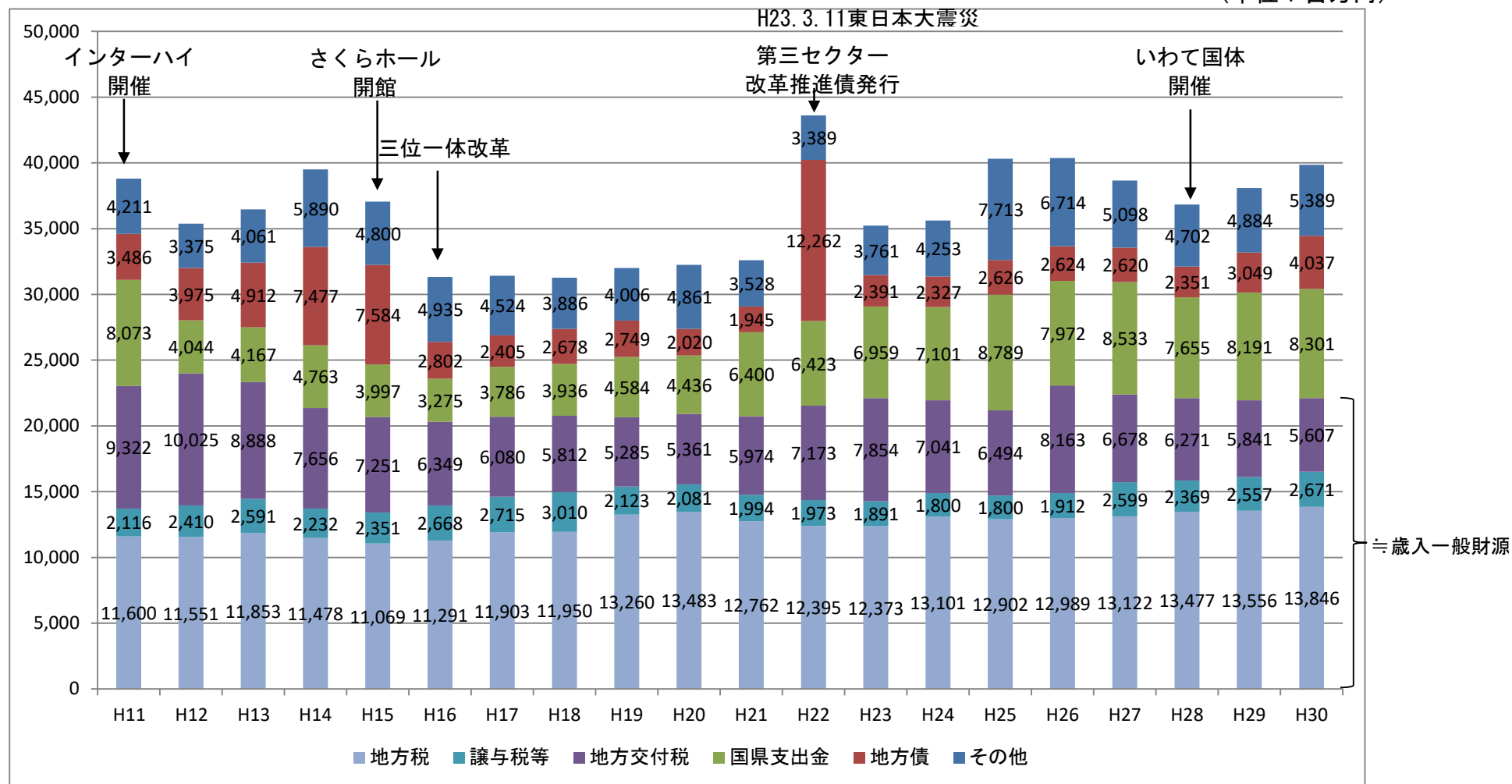
※3 地方債：市町村が事業を行うために借り入れるお金

※4 臨時財政対策債：国の地方交付税財源が不足した際にその代替として市町村に発行を認める地方債 (償還金に対して後年度地方交付税で補てん)

※5 歳入一般財源：収入のうち、使い道が特定されずどのような経費にも使用することができる収入 (市税や地方交付税など)

(2) 歳入決算の経年比較（グラフ）

（単位：百万円）



地方税については、人口減少の傾向は県内同様であるものの、企業の立地や雇用の拡大及び住宅着工件数等の増加も見え始め、堅調に推移している。また、交付税については、平成11年度には100億円弱程度であったが、平成18年度には60億円を下回り、東日本大震災による特別交付税の一時的な増加はあったものの、近年は同水準で推移している。

## 5 歳出の状況

### (1) 歳出決算の経年比較

(単位：千円)

| 区分 \ 年度    | H26        |        | H27        |        | H28        |        | H29        |        | H30        |        |
|------------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|            | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     |
| 人件費        | 4,857,348  | -0.4%  | 5,006,397  | 3.1%   | 4,963,713  | -0.9%  | 4,814,594  | -3.0%  | 4,899,069  | 1.8%   |
| 扶助費 (※1)   | 6,194,190  | 7.2%   | 6,470,761  | 4.5%   | 6,908,105  | 6.8%   | 7,240,421  | 4.8%   | 7,068,161  | -2.4%  |
| 公債費 (※2)   | 6,793,214  | 42.5%  | 5,270,969  | -22.4% | 4,593,865  | -12.8% | 4,381,999  | -4.6%  | 3,593,294  | -18.0% |
| 物件費 (※3)   | 5,744,720  | -6.0%  | 5,760,169  | 0.3%   | 5,940,112  | 3.1%   | 6,167,804  | 3.8%   | 6,408,739  | 3.9%   |
| 補助費等       | 5,946,171  | 14.6%  | 5,838,222  | -1.8%  | 4,947,428  | -15.3% | 4,308,065  | -12.9% | 4,580,090  | 6.3%   |
| 投資的経費 (※4) | 3,969,667  | 6.2%   | 3,216,692  | -19.0% | 3,107,805  | -3.4%  | 4,493,897  | 44.6%  | 5,219,808  | 16.2%  |
| 繰出金 (※5)   | 3,413,649  | -14.4% | 3,475,094  | 1.8%   | 3,557,761  | 2.4%   | 3,433,755  | -3.5%  | 3,600,275  | 4.8%   |
| その他        | 2,455,822  | -44.1% | 2,575,105  | 4.9%   | 2,354,561  | -8.6%  | 2,782,288  | 18.2%  | 3,556,905  | 27.8%  |
| 合計         | 39,374,781 | 1.4%   | 37,613,409 | -4.5%  | 36,373,350 | -3.3%  | 37,622,823 | 3.4%   | 38,926,341 | 3.5%   |

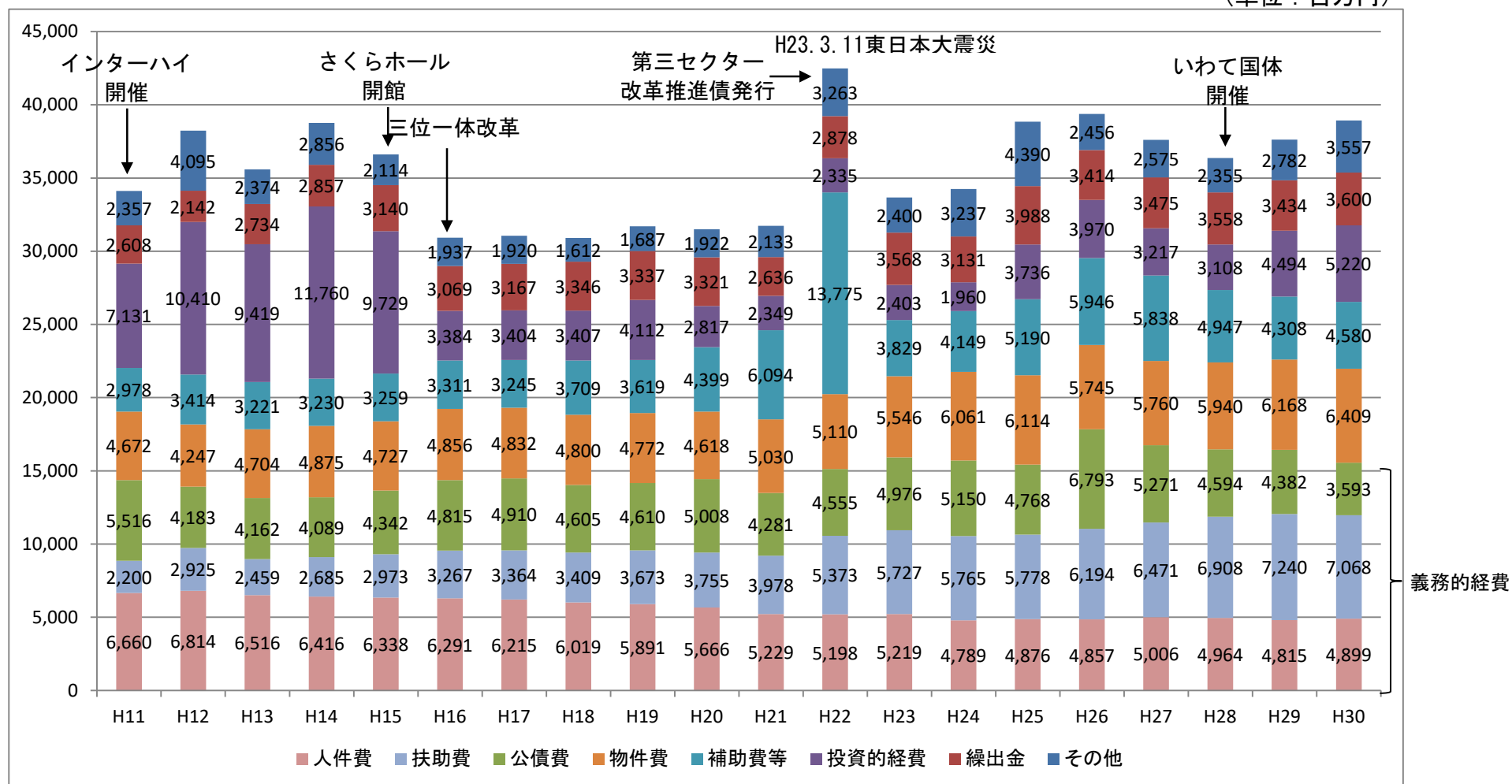
- 【人件費】 基本給（＋5,874千円）、期末・勤勉手当（＋20,031）、退職手当負担金（＋36,872）の増加等により、全体で84,475千円の増となった。
- 【扶助費】 生活保護扶助費（▲69,308千円）、臨時福祉給付金（▲219,555千円）、地域型給付費等負担金（＋136,558千円）などの増減により、全体で172,260千円の減となった。
- 【公債費】 さくらホール関連の起債償還額（▲612,250千円）減少の影響などにより、全体で788,705千円の減となった。
- 【物件費】 公有地産業廃棄物処理事業（＋69,531千円）、放課後児童健全育成事業（＋26,496千円）、橋梁長寿命化修繕事業（＋37,777千円）の増加等により、全体で240,935千円の増となった。
- 【補助費等】 北上地区消防組合負担金（＋162,057千円）及び下水道事業会計補助金（＋149,733千円）、岩手中部広域行政組合施設整備負担金（＋106,023千円）、子育て世帯住宅取得支援事業費補助金（＋46,176千円）の増加等により、全体で272,025千円の増となった。
- 【投資的経費】 橋梁長寿命化修繕事業（＋193,628千円）、北上総合体育館空調・照明改修事業（＋376,024千円）、市営鳩岡崎住宅改修事業（＋136,777千円）成田黒沢尻線整備事業、（＋359,828千円）の増加等により、全体で725,911千円の増となりました。

#### 【用語の解説】

- ※1 扶助費：社会保障制度に係る各種の法令（生活保護法、児童福祉法、老人福祉法など）に基づいて、住民の生活維持のために支出される経費
- ※2 公債費：地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金や一時借入金の子利などの合計
- ※3 物件費：人件費や扶助費などを除いた消費的な費用の総称で、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料など
- ※4 投資的経費：道路や建物などの公共施設の建設に係る経費や、災害により損傷した公共施設の復旧に係る経費など
- ※5 繰出金：一般会計と特別会計相互において支出される費用であり、国民健康保険等の事業会計への支出や公営企業会計への支出など

## (2) 歳出決算の経年比較（グラフ）

（単位：百万円）



平成15年度の行財政緊急プログラム以降の行政改革期間中は、投資的経費の抑制を行ってきた。その結果、公債費は平成26年度をピークに減少傾向となった。また、扶助費は、高齢化の進展などから年々増大してきており、増加傾向が継続している。

## 6 基金の状況

### (1) 基金残高の経年比較

(単位：千円)

| 区分           | H26       |        | H27       |       | H28       |       | H29       |       | H30       |       |
|--------------|-----------|--------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
|              | 金額        | 伸率     | 金額        | 伸率    | 金額        | 伸率    | 金額        | 伸率    | 金額        | 伸率    |
| 財政調整基金       | 897,327   | 0.1%   | 898,130   | 0.1%  | 898,870   | 0.1%  | 899,855   | 0.1%  | 901,314   | 0.2%  |
| 市債管理基金（減債基金） | 4,033,473 | -11.3% | 4,113,450 | 2.0%  | 4,020,092 | -2.3% | 3,747,325 | -6.8% | 5,094,581 | 36.0% |
| 小計           | 4,930,800 | -9.5%  | 5,011,580 | 1.6%  | 4,918,962 | -1.8% | 4,647,180 | -5.5% | 5,995,895 | 29.0% |
| その他の特定目的基金   | 1,133,418 | 16.5%  | 1,627,994 | 43.6% | 1,820,996 | 11.9% | 2,158,379 | 18.5% | 1,948,479 | -9.7% |
| 合計           | 6,064,218 | -5.5%  | 6,639,574 | 9.5%  | 6,739,958 | 1.5%  | 6,805,559 | 1.0%  | 7,944,374 | 16.7% |

【財政調整基金】

運用益の積立により、前年度と比較して1,459千円増加しました。

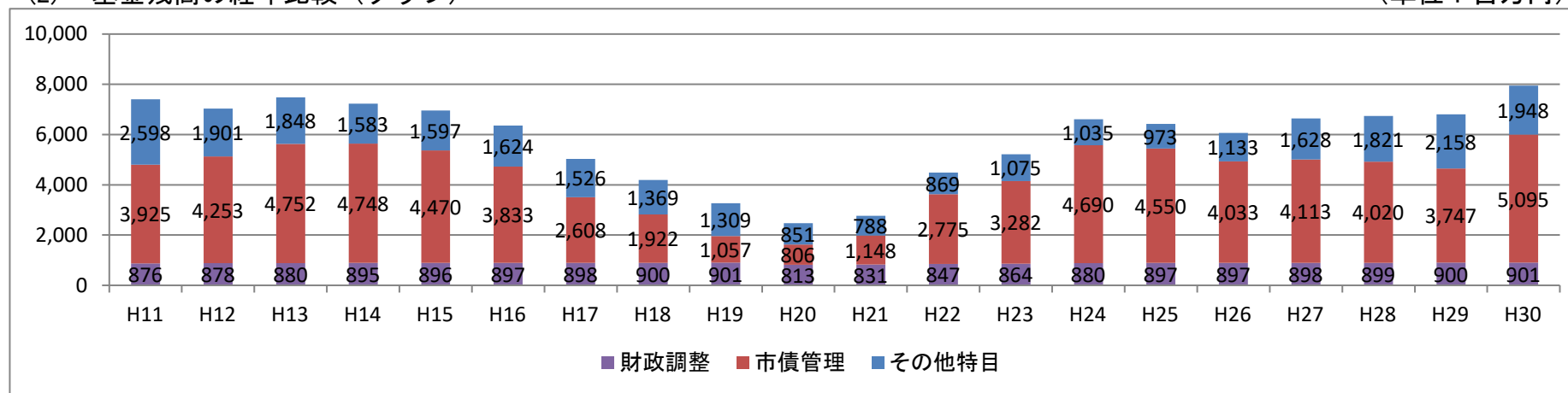
【市債管理基金】

事業への充当分（△23,127千円）を取り崩した一方、運用益187千円、下水道事業債償還基金費補助金分5,033千円、土地売却収入（+1,220,400千円）及び前年度決算剰余金の一部を積み立てた（+144,763千円）結果、前年度と比較して1,347,256千円増加しました。

【その他の特定目的基金】ふるさと寄附金額の減少などにより、前年度と比較して209,900千円減少しました。

### (2) 基金残高の経年比較（グラフ）

(単位：百万円)



基金残高の状況は、地方交付税の落ち込みや、多様な市民ニーズに対応するため、基金を取り崩しながら財政運営を行った結果、平成20年度に市債管理基金残高が8億円まで減少した。それ以降、行政改革の効果や市税等の伸びに加え、リーマンショック以降に継続して実施された国の経済対策を取り込むことにより、一般財源を抑制し基金の取り崩しを最小限に抑えた結果、基金残高は回復してきた。

## 7 市債の状況

### (1) 市債残高の経年比較

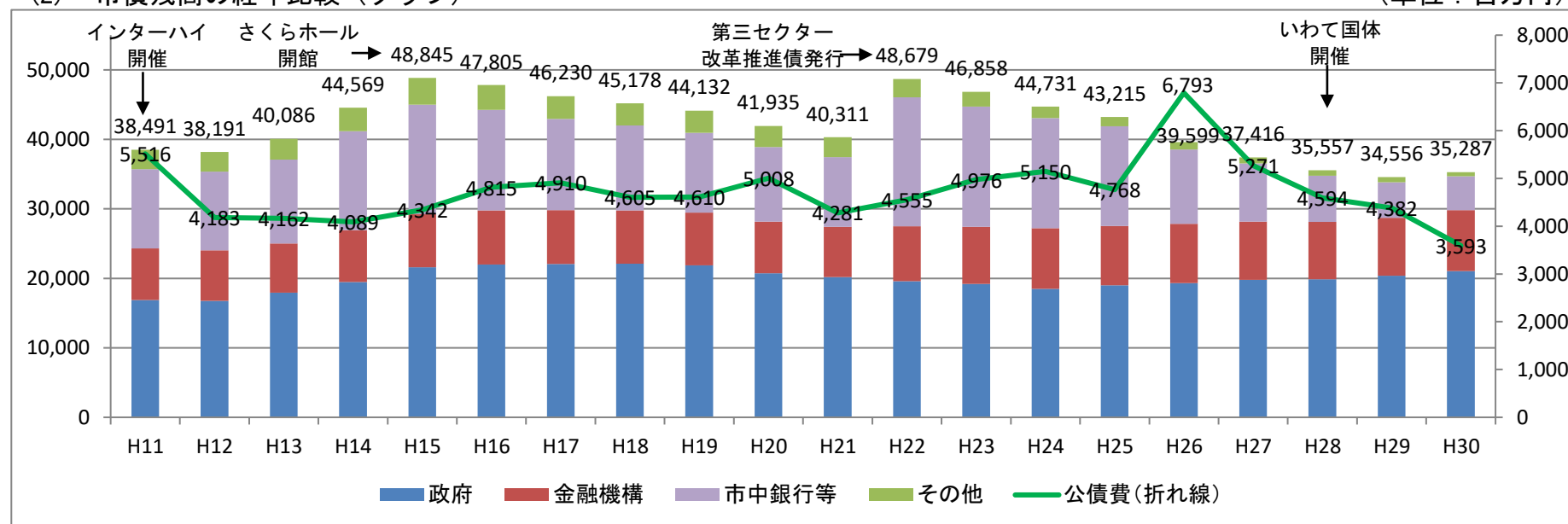
(単位：千円)

| 区分           | H26        |        | H27        |        | H28        |        | H29        |        | H30        |        |
|--------------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|              | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     | 金額         | 伸率     |
| 政府資金         | 19,317,185 | 1.7%   | 19,785,130 | 2.4%   | 19,846,573 | 0.3%   | 20,357,382 | 2.6%   | 21,059,416 | 3.4%   |
| 地方公共団体金融機構資金 | 8,529,715  | -0.3%  | 8,389,231  | -1.6%  | 8,281,197  | -1.3%  | 8,364,509  | 1.0%   | 8,745,252  | 4.6%   |
| 市中銀行等資金      | 10,687,421 | -25.4% | 8,379,856  | -21.6% | 6,633,768  | -20.8% | 5,097,184  | -23.2% | 4,869,359  | -4.5%  |
| その他          | 1,065,021  | -20.0% | 861,567    | -19.1% | 795,007    | -7.7%  | 736,751    | -7.3%  | 612,825    | -16.8% |
| 合計           | 39,599,342 | -8.4%  | 37,415,784 | -5.5%  | 35,556,545 | -5.0%  | 34,555,826 | -2.8%  | 35,286,852 | 2.1%   |

【全般的事項】臨時財政対策債発行額が高止まりの状況であることや普通建設事業の増加などから、政府資金の残高が前年度と比較して増加（＋702,034千円）し、市債残高全体でみると、前年度と比較して731,026千円増加しました。

### (2) 市債残高の経年比較（グラフ）

(単位：百万円)



市債残高については、インターハイ開催に伴う総合運動公園等の整備やさくらホールの整備により平成15年度に490億円弱まで増加した。また、平成22年度には、土地開発公社の解散に伴い第三セクター改革推進債95億円を発行した。インターハイ関連及びさくらホール整備に係る市債の償還はほぼ終了し、第三セクター改革推進債についても繰上償還を実施することにより、現在は、市債残高が350億円程度まで減少し、公債費も36億円程度まで減少した。

## 8 財政指標の状況

### (1) 財政指標の経年比較

(単位：千円)

| 区分           | 年度 |  | H26   |        | H27   |       | H28  |        | H29  |        | H30  |       |
|--------------|----|--|-------|--------|-------|-------|------|--------|------|--------|------|-------|
|              |    |  | 比率等   | 増減     | 比率等   | 増減    | 比率等  | 増減     | 比率等  | 増減     | 比率等  | 増減    |
| 財政力指数 (※1)   |    |  | 0.66  | 0.01   | 0.67  | 0.01  | 0.67 | 0.00   | 0.69 | 0.02   | 0.71 | 0.02  |
| 一般財源比率 (※2)  |    |  | 57.1  | 4.5    | 57.9  | 0.8   | 60.1 | 2.2    | 57.7 | △ 2.4  | 55.5 | △ 2.2 |
| 自主財源比率 (※3)  |    |  | 48.8  | △ 2.3  | 47.1  | △ 1.7 | 49.3 | 2.2    | 48.4 | △ 0.9  | 48.2 | △ 0.2 |
| 経常収支比率 (※4)  |    |  | 88.5  | 2.7    | 89.5  | 1.0   | 89.7 | 0.2    | 88.5 | △ 1.2  | 86.4 | △ 2.1 |
| 実質公債費比率 (※5) |    |  | 16.6  | △ 0.2  | 16.1  | △ 0.5 | 15.5 | △ 0.6  | 15.5 | 0.0    | 13.7 | △ 1.8 |
| 将来負担比率 (※6)  |    |  | 106.8 | △ 17.6 | 108.5 | 1.7   | 63.6 | △ 44.9 | 53.5 | △ 10.1 | 51.1 | △ 2.4 |

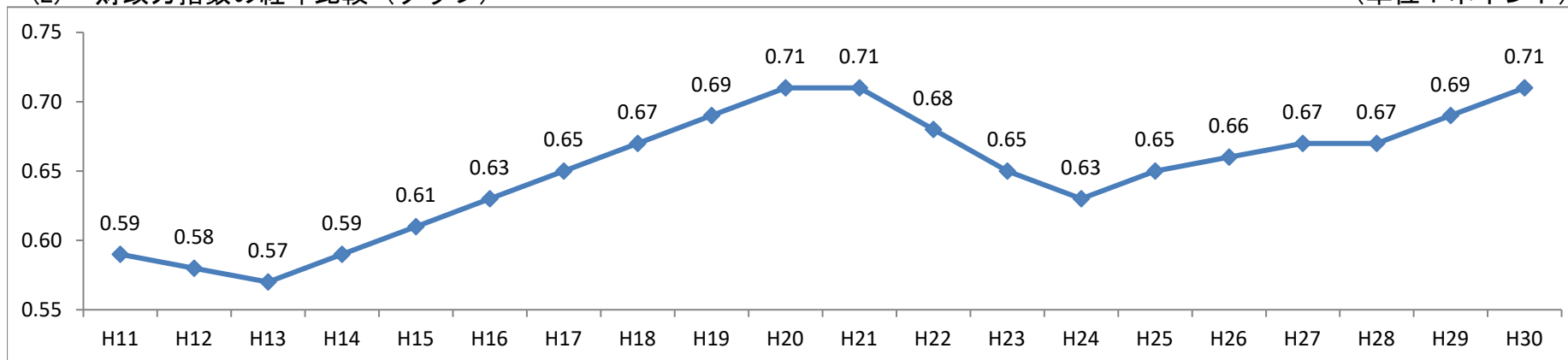
- 【財政力指数】 市民税所得割及び市民税法人税割の増などにより、前年度と比較して0.02ポイント増加しました。
- 【一般財源比率】 財産収入や地方債の伸びにより、前年度と比較して2.2ポイント減少しました。
- 【自主財源比率】 寄附金及び諸収入の減により、前年度と比較して0.2ポイント減少しました。
- 【経常収支比率】 公債費の減などにより、前年度と比較して2.1ポイント減少しました。
- 【実質公債費比率】 さくらホール関連の起債償還額の減などにより、前年度と比較して1.8ポイント減少となりました。
- 【将来負担比率】 地方債現在高の減などにより、前年度と比較して2.4ポイント減少しました。

#### 【用語の解説】

- ※1 財政力指数：地方公共団体の体力である財政力を示す数値で、この数値が1.0に近づくほど財源に余裕があるとされる
- ※2 一般財源比率：収入のうち、使い道が特定されずどのような経費にも使用することができる収入（市税や地方交付税など）の割合
- ※3 自主財源比率：収入のうち、団体が自ら収入することができる収入（市税、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金など）の割合
- ※4 経常収支比率：人件費や扶助費、公債費などの義務的性格の経常経費に、市税や地方交付税などの経常収入が、どれだけ充てられているかを示す割合
- ※5 実質公債費比率：地方公共団体の実質的な借金の返済額が財政規模に占める割合であり、この数値が18%を超えると起債に国の許可が必要となる
- ※6 将来負担比率：地方公共団体が将来負担すべき実質的な負債額が財政規模に占める割合であり、この数値が350%を超えると早期健全化団体となり、財政健全化計画の策定と実施が国により義務付けられる

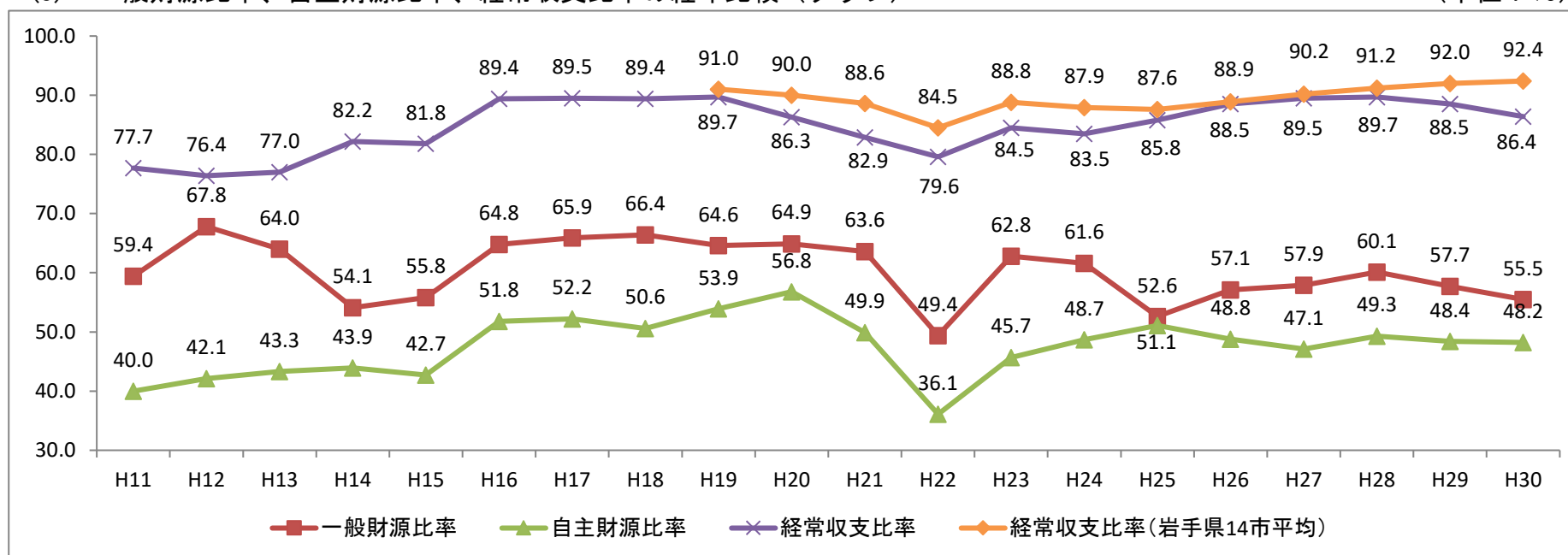
(2) 財政力指数の経年比較 (グラフ)

(単位：ポイント)

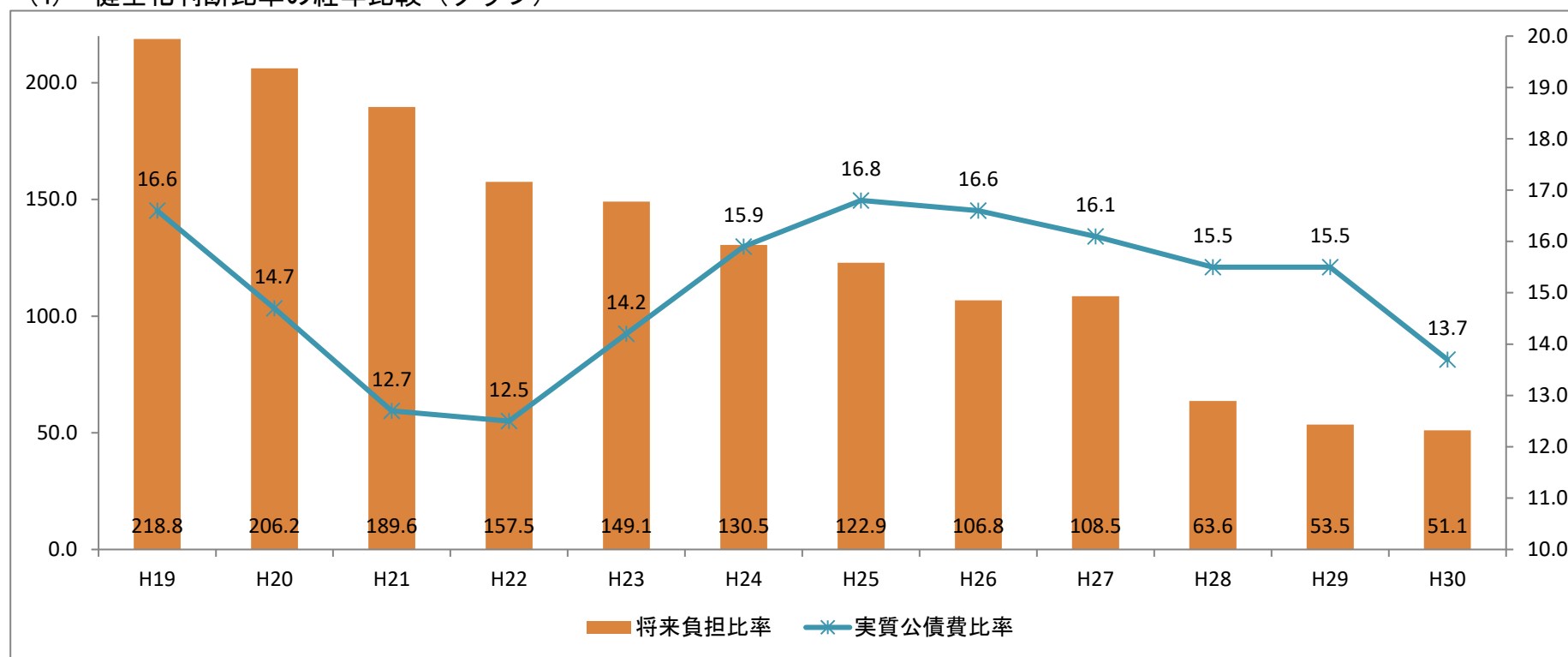


(3) 一般財源比率、自主財源比率、経常収支比率の経年比較 (グラフ)

(単位：%)



(4) 健全化判断比率の経年比較（グラフ）



実質公債費比率は、行政改革期間中の投資的経費の抑制により、公債費のピークである平成26年度以降は改善傾向が続いている。また、市債の償還が進むのと合わせて、平成22年度に借入した第三セクター改革推進債の繰上償還を行うなどし、将来負担比率についても改善傾向が続いている。

## 9 平成30年度県内各市歳入・歳出の状況

### (1) 歳入歳出の状況

(単位：人、百万円)

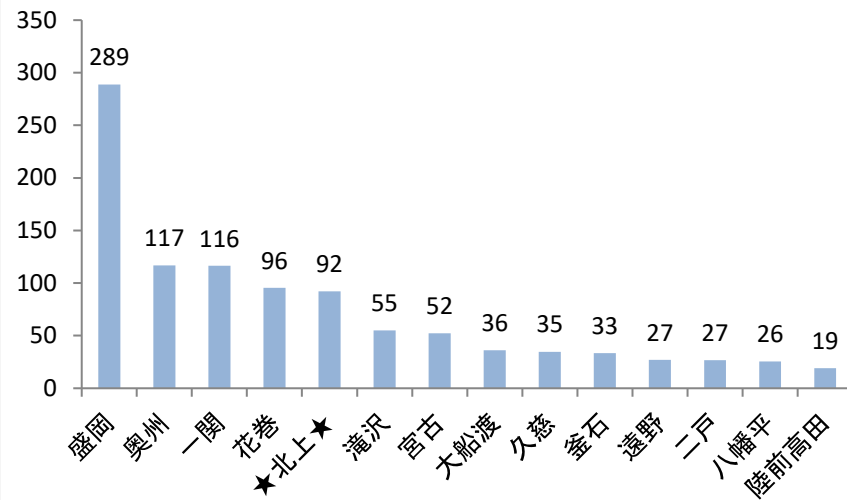
| 団体名<br>区分 | 北上     | 盛岡      | 花巻      | 奥州      | 一関      | 八幡平    | 二戸     | 遠野     | 久慈     | 宮古     | 釜石     | 大船渡    | 陸前<br>高田 | 滝沢     |
|-----------|--------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|
| 住民基本台帳人口  | 92,260 | 288,816 | 95,501  | 116,742 | 116,367 | 25,637 | 26,803 | 26,899 | 34,763 | 52,379 | 33,437 | 36,243 | 19,062   | 55,133 |
| (H27国勢調査) | 93,511 | 297,669 | 97,771  | 119,465 | 121,625 | 26,371 | 27,637 | 28,071 | 35,644 | 56,569 | 36,812 | 38,068 | 19,757   | 55,487 |
| (H22国勢調査) | 93,138 | 298,348 | 101,438 | 124,746 | 127,642 | 28,680 | 29,702 | 29,331 | 36,872 | 59,430 | 39,574 | 40,737 | 23,330   | 53,857 |
| 歳入総額      | 39,851 | 112,068 | 50,018  | 58,192  | 65,135  | 22,962 | 17,404 | 19,679 | 25,789 | 46,205 | 57,226 | 33,085 | 82,310   | 20,761 |
| うち地方税     | 13,846 | 42,744  | 11,321  | 13,626  | 12,614  | 3,078  | 3,160  | 2,918  | 4,372  | 5,680  | 4,881  | 4,296  | 1,828    | 5,294  |
| うち交付税     | 5,607  | 13,339  | 13,783  | 18,535  | 24,623  | 7,939  | 6,078  | 7,487  | 6,386  | 12,740 | 8,267  | 8,418  | 18,446   | 3,884  |
| うち地方債     | 4,037  | 11,513  | 5,857   | 4,543   | 6,019   | 3,310  | 1,528  | 1,296  | 2,429  | 5,931  | 3,307  | 2,018  | 1,074    | 2,554  |
| 歳出総額      | 38,926 | 110,325 | 48,675  | 57,601  | 63,152  | 22,334 | 16,647 | 18,760 | 23,740 | 43,840 | 53,669 | 31,294 | 78,771   | 20,324 |
| うち義務的経費   | 15,560 | 58,147  | 21,698  | 26,899  | 30,397  | 7,970  | 7,733  | 8,222  | 9,626  | 12,944 | 9,231  | 8,623  | 6,654    | 8,777  |
| 人件費       | 4,899  | 14,861  | 8,190   | 7,002   | 10,841  | 2,555  | 2,698  | 2,938  | 2,876  | 5,055  | 3,452  | 3,352  | 2,440    | 2,358  |
| 扶助費       | 7,068  | 30,846  | 8,128   | 10,471  | 10,276  | 2,483  | 2,679  | 2,780  | 3,988  | 4,668  | 3,397  | 3,199  | 1,778    | 5,093  |
| 公債費       | 3,593  | 12,440  | 5,380   | 9,426   | 9,280   | 2,932  | 2,356  | 2,504  | 2,762  | 3,221  | 2,382  | 2,072  | 2,436    | 1,326  |
| うち投資的経費   | 5,220  | 13,397  | 7,189   | 5,054   | 5,766   | 4,352  | 2,332  | 2,533  | 4,917  | 15,380 | 22,707 | 10,948 | 53,908   | 4,142  |
| 形式収支      | 925    | 1,743   | 1,343   | 591     | 1,983   | 628    | 757    | 919    | 2,049  | 2,365  | 3,557  | 1,791  | 3,539    | 437    |
| 実質収支      | 513    | 1,030   | 1,096   | 412     | 1,940   | 605    | 656    | 617    | 1,516  | 1,948  | 1,051  | 868    | 2,131    | 351    |

#### 【用語の解説】

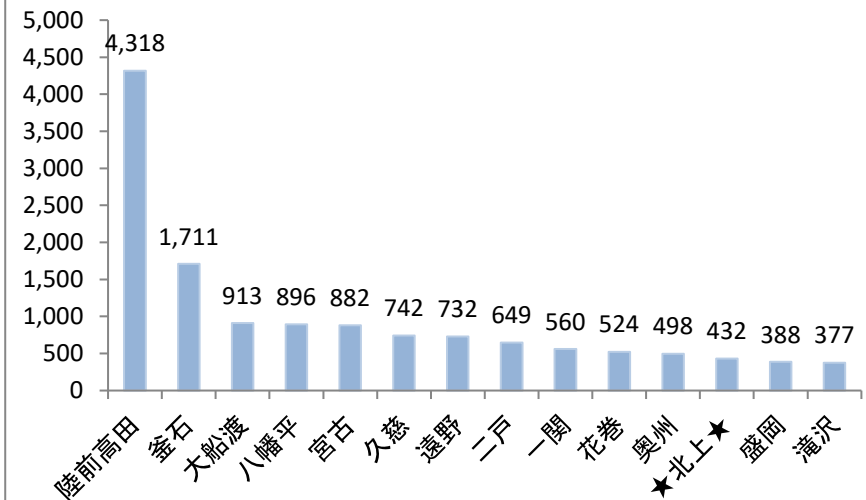
※形式収支：歳入総額から歳出総額を差し引いた金額

※実質収支：形式収支から翌年度繰越財源を差し引いた金額

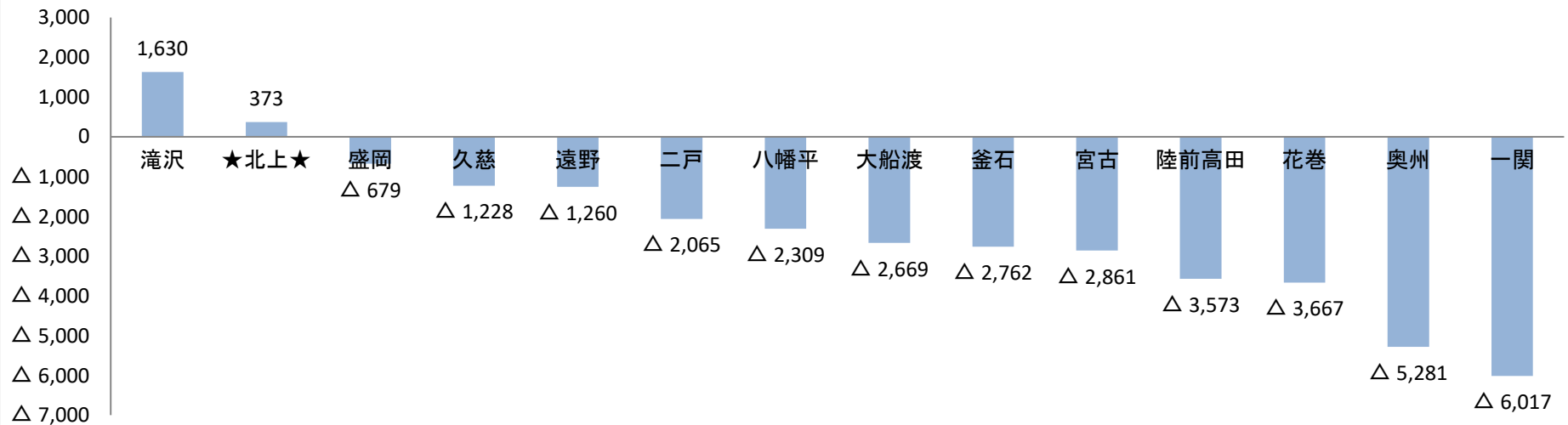
### 住民基本台帳人口(千人)



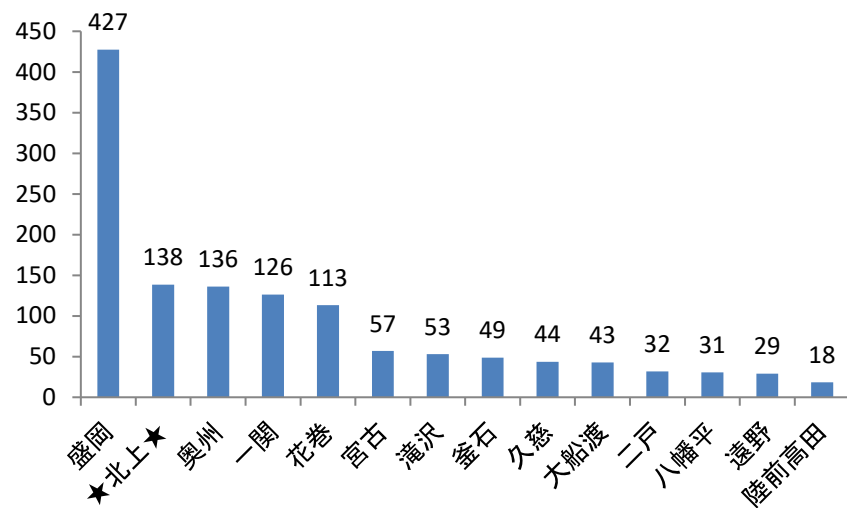
### 市民1人当たり歳入総額(千円)



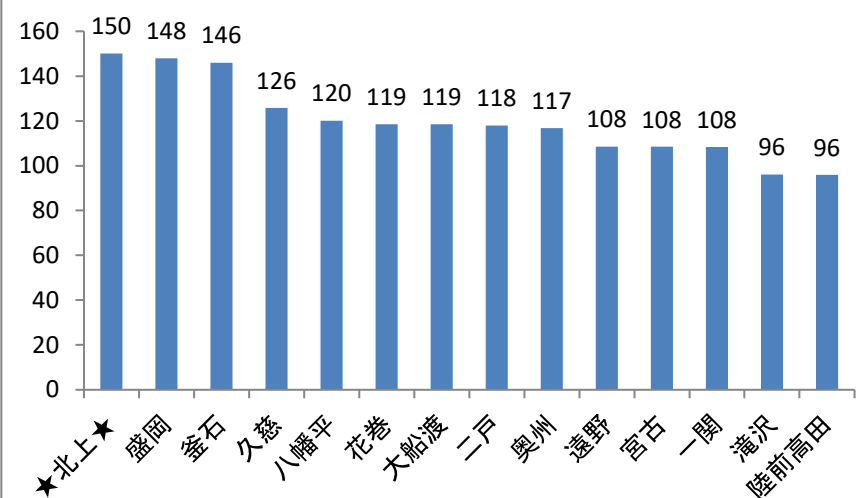
### 国勢調査人口増減数(H22→27)(人)



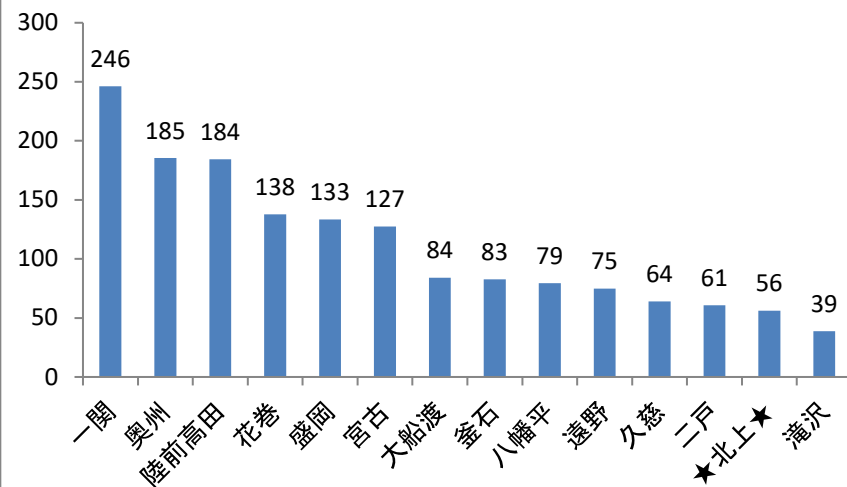
①地方税(億円)



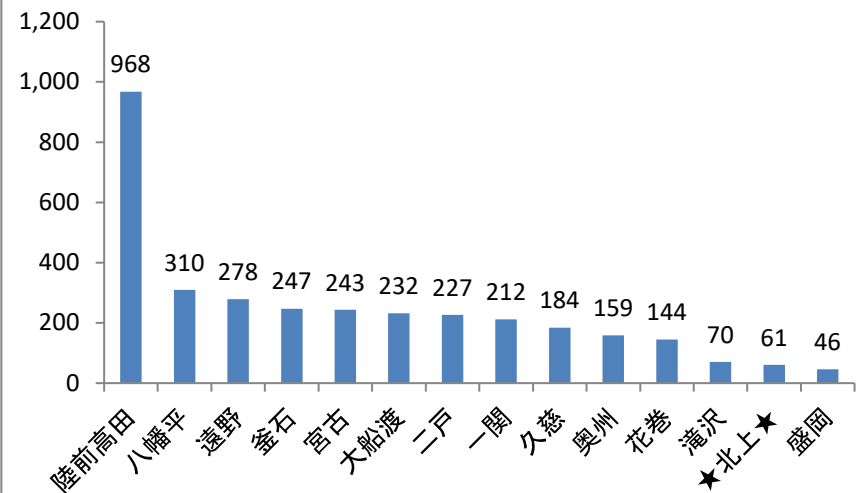
②市民1人当たり地方税(千円)



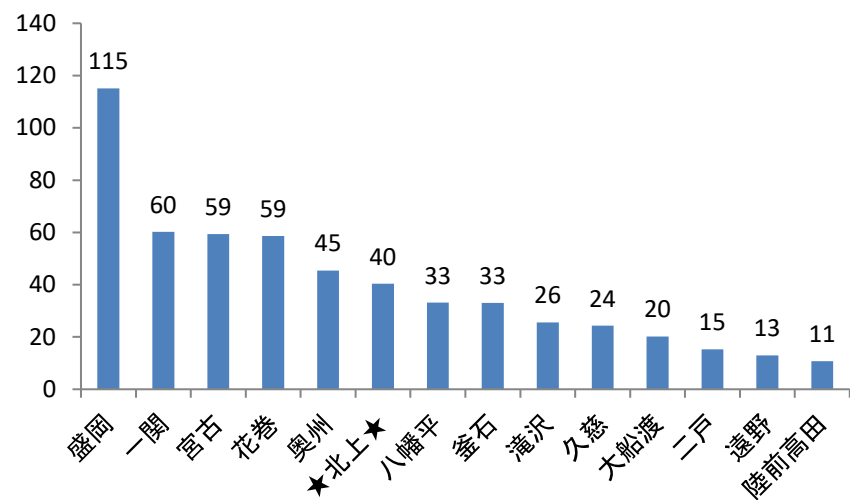
③地方交付税(億円)



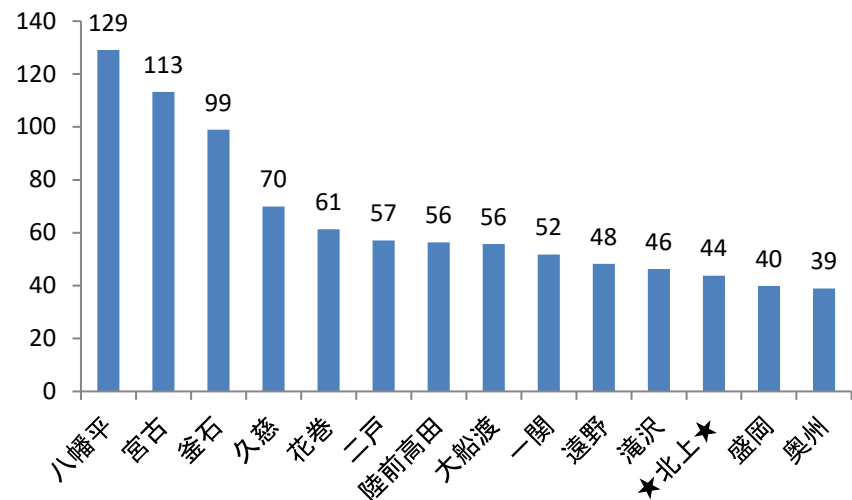
④市民1人当たり地方交付税(千円)



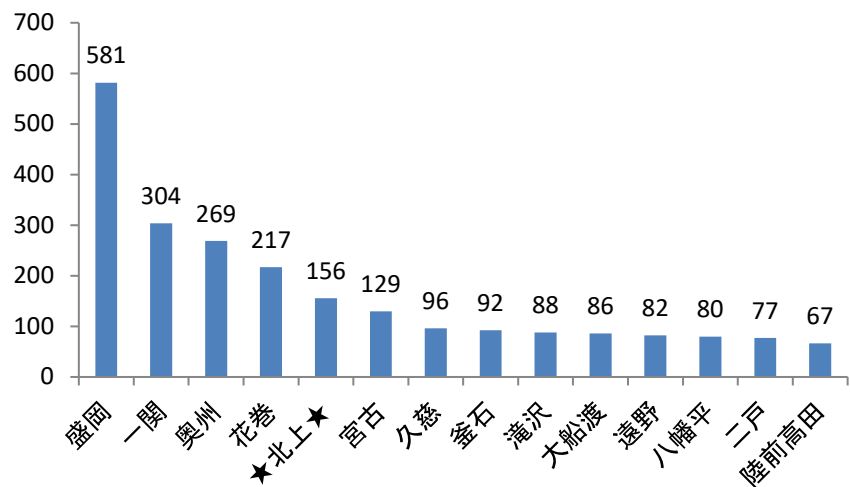
⑤地方債(億円)



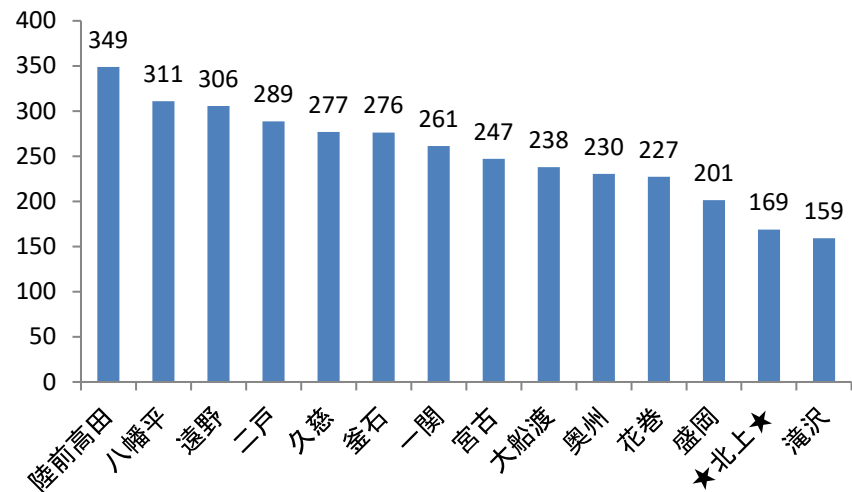
⑥市民1人当たり地方債(千円)



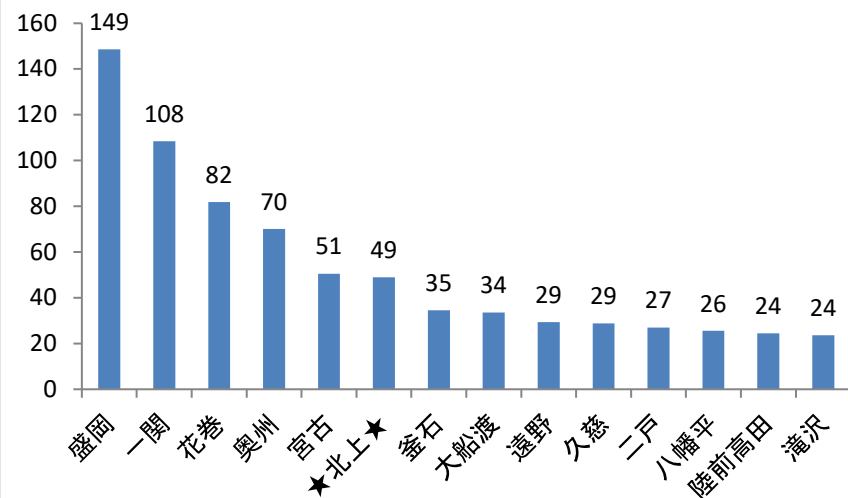
⑦義務的経費(億円)



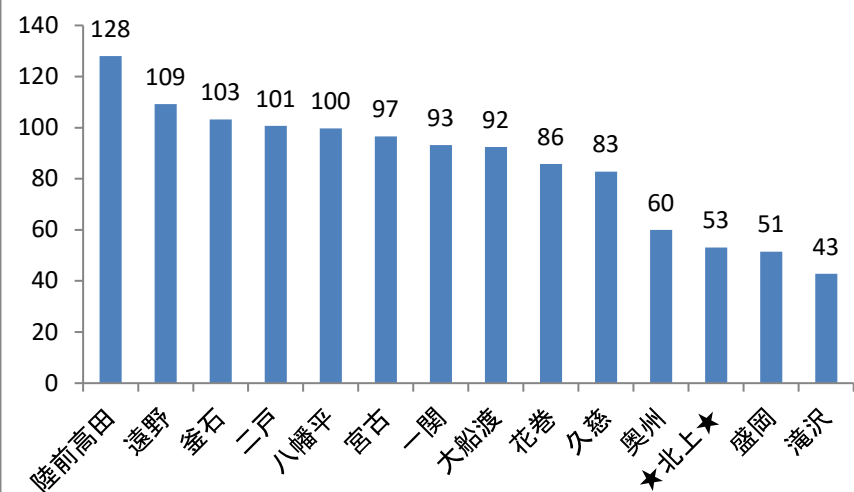
⑧市民1人当たり義務的経費(千円)



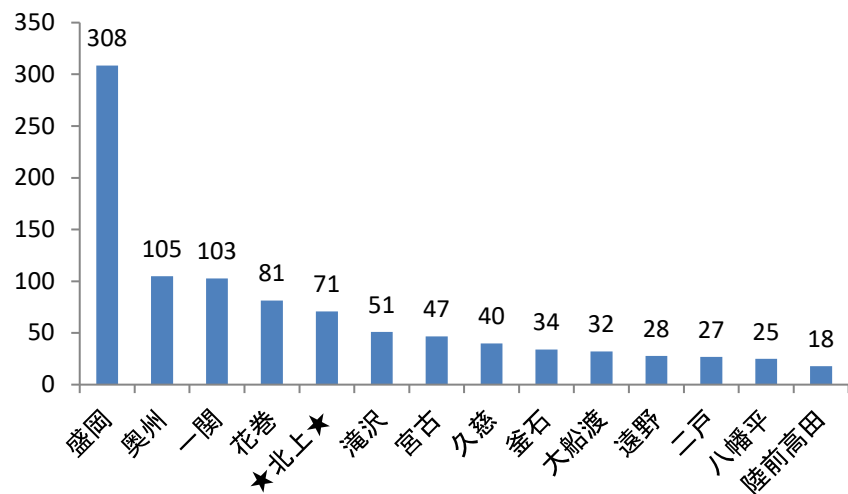
⑨人件費(億円)



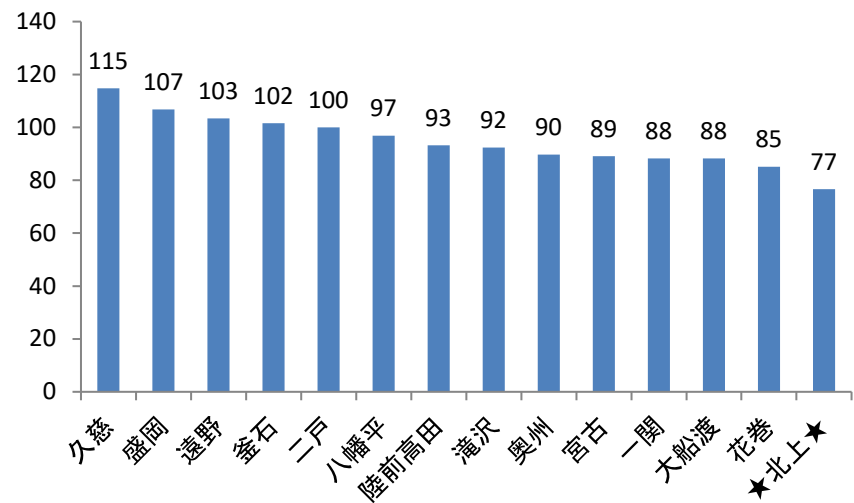
⑩市民1人当たり人件費(千円)



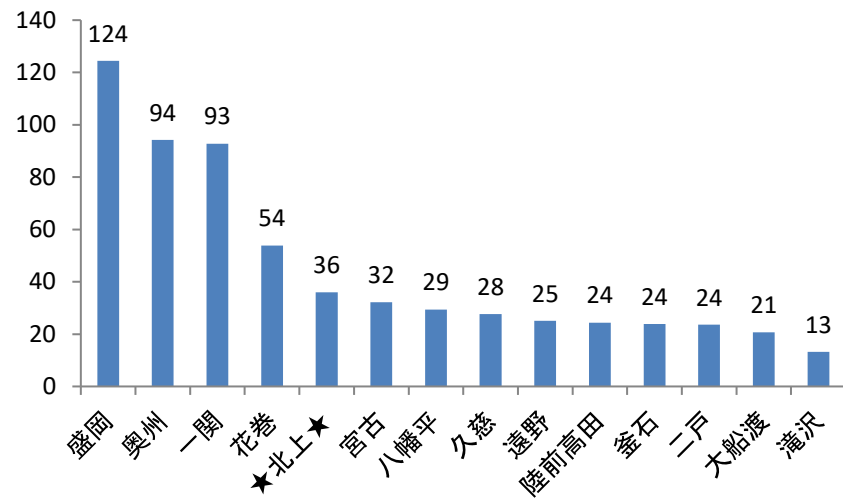
⑪扶助費(億円)



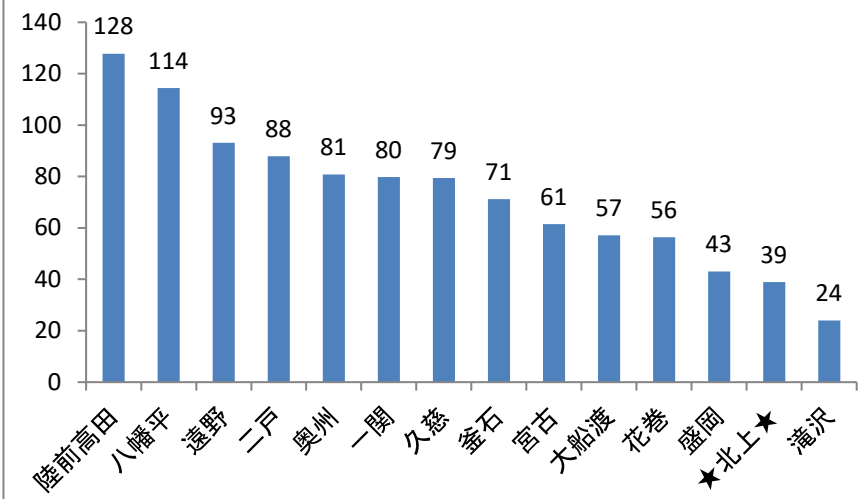
⑫市民1人当たり扶助費(千円)



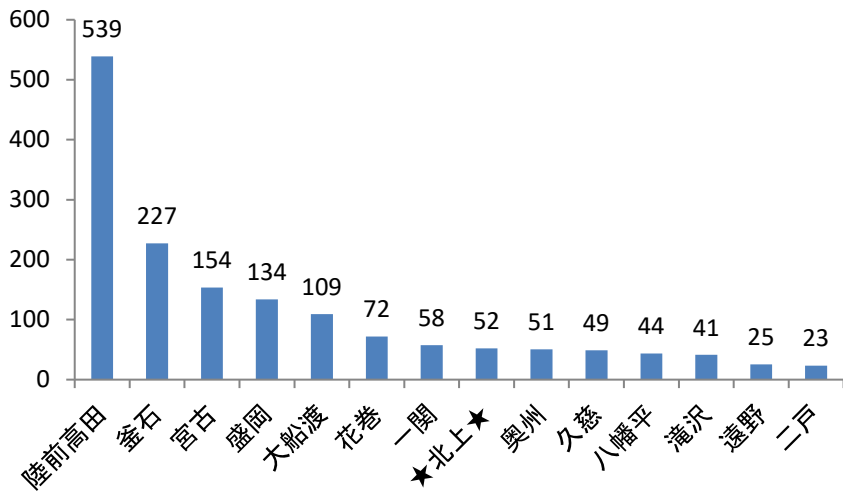
⑬公債費(億円)



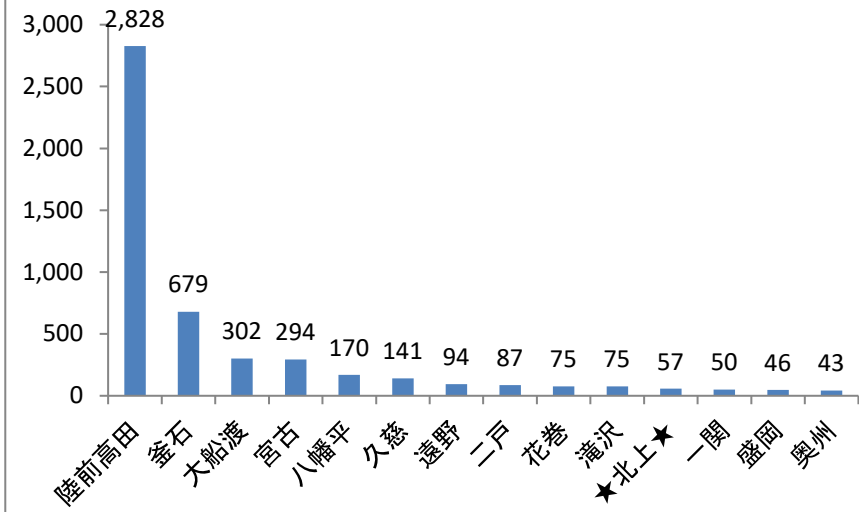
⑭市民1人当たり公債費(千円)



⑮投資的経費(億円)



⑯市民1人当たり投資的経費(千円)



## 10 平成30年度県内各市基金・市債・財政指標の状況

### (1) 積立基金及び市債残高の状況

(単位：人、百万円)

| 区分 \ 団体名    | 北上     | 盛岡      | 花巻     | 奥州      | 一関      | 八幡平    | 二戸     | 遠野     | 久慈     | 宮古     | 釜石     | 大船渡    | 陸前高田   | 滝沢     |
|-------------|--------|---------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 住民基本台帳人口    | 92,260 | 288,816 | 95,501 | 116,742 | 116,367 | 25,637 | 26,803 | 26,899 | 34,763 | 52,379 | 33,437 | 36,243 | 19,062 | 55,133 |
| 積立基金残高      | 7,944  | 13,297  | 14,038 | 13,136  | 26,344  | 9,541  | 4,679  | 3,176  | 3,850  | 22,527 | 26,451 | 16,429 | 48,389 | 2,146  |
| うち財政調整基金    | 901    | 7,733   | 7,393  | 8,583   | 3,996   | 3,198  | 1,882  | 1,737  | 1,396  | 6,863  | 4,614  | 5,804  | 3,823  | 1,375  |
| うち減債基金      | 5,095  | 307     | 1,166  | 1,509   | 18,491  | 1,954  | 1,390  | 402    | 810    | 2,967  | 2,543  | 2,908  | 3,998  | 643    |
| うちその他特定目的基金 | 1,948  | 5,257   | 5,479  | 3,044   | 3,857   | 4,389  | 1,407  | 1,037  | 1,644  | 12,697 | 19,294 | 7,717  | 40,568 | 128    |
| 起債残高        | 35,287 | 131,003 | 55,323 | 69,476  | 81,157  | 17,854 | 17,690 | 18,926 | 23,220 | 42,397 | 23,064 | 23,587 | 11,577 | 18,489 |

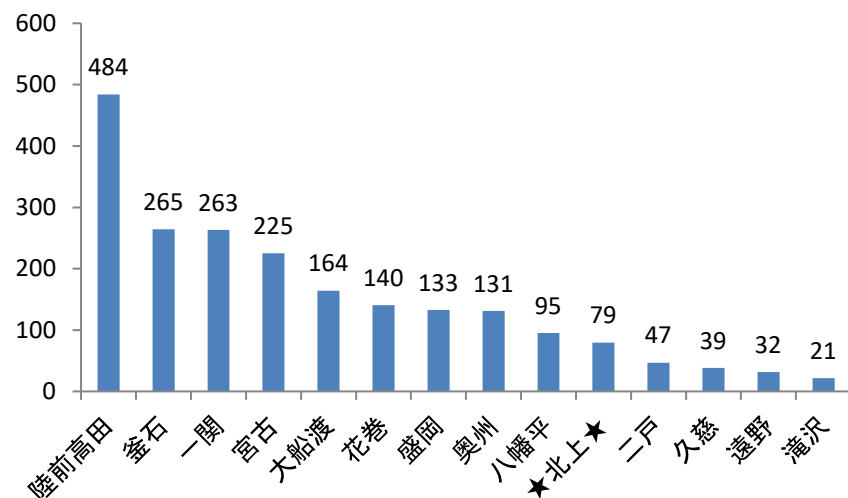
### (2) 財政指標の状況

単位：百万円、ポイント、%

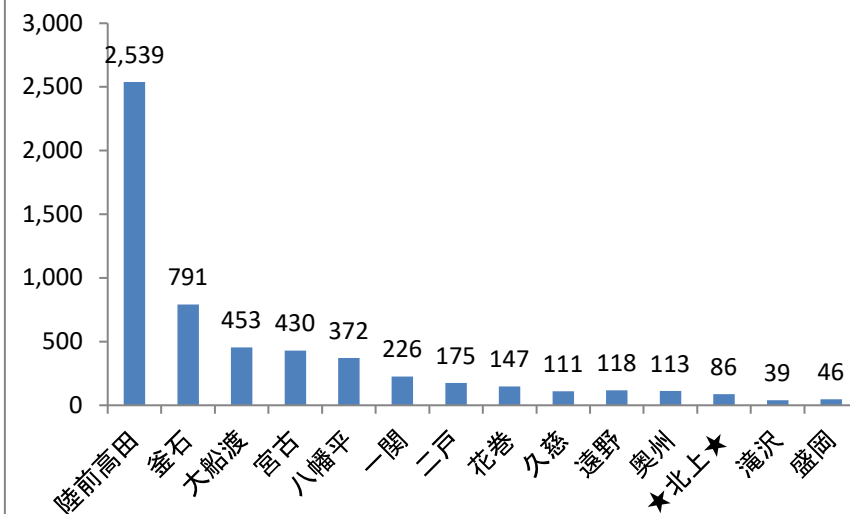
| 区分 \ 団体名 | 北上     | 盛岡     | 花巻     | 奥州     | 一関     | 八幡平    | 二戸    | 遠野     | 久慈     | 宮古     | 釜石     | 大船渡    | 陸前高田  | 滝沢     |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 標準財政規模   | 21,907 | 63,912 | 27,947 | 34,496 | 40,408 | 11,671 | 9,671 | 10,659 | 11,333 | 17,392 | 10,266 | 10,881 | 6,502 | 10,561 |
| 財政力指数    | 0.71   | 0.75   | 0.47   | 0.43   | 0.37   | 0.29   | 0.36  | 0.29   | 0.42   | 0.38   | 0.50   | 0.46   | 0.31  | 0.59   |
| 一般財源比率   | 55.5   | 56.7   | 56.0   | 29.0   | 62.6   | 51.6   | 57.5  | 57.4   | 46.6   | 42.9   | 24.6   | 26.6   | 25.2  | 50.3   |
| 自主財源比率   | 48.2   | 47.2   | 34.5   | 35.2   | 30.6   | 31.4   | 33.5  | 34.5   | 37.9   | 38.4   | 56.8   | 47.7   | 47.5  | 35.9   |
| 経常収支比率   | 86.4   | 95.1   | 90.6   | 97.0   | 93.5   | 94.9   | 91.6  | 87.2   | 92.8   | 91.8   | 97.4   | 92.0   | 94.2  | 89.7   |
| 実質公債費比率  | 13.7   | 9.5    | 9.5    | 16.6   | 11.5   | 14.2   | 11.7  | 12.6   | 13.8   | 9.7    | 13.3   | 11.8   | 15.0  | 6.8    |
| 将来負担比率   | 51.1   | 63.1   | 91.2   | 110.4  | 75.6   | 27.3   | 41.8  | 75.6   | 125.3  | 18.2   | 17.6   | 86.2   | 0.0   | 59.8   |

※財政指標については速報値であるため、今後変更となる場合がある。

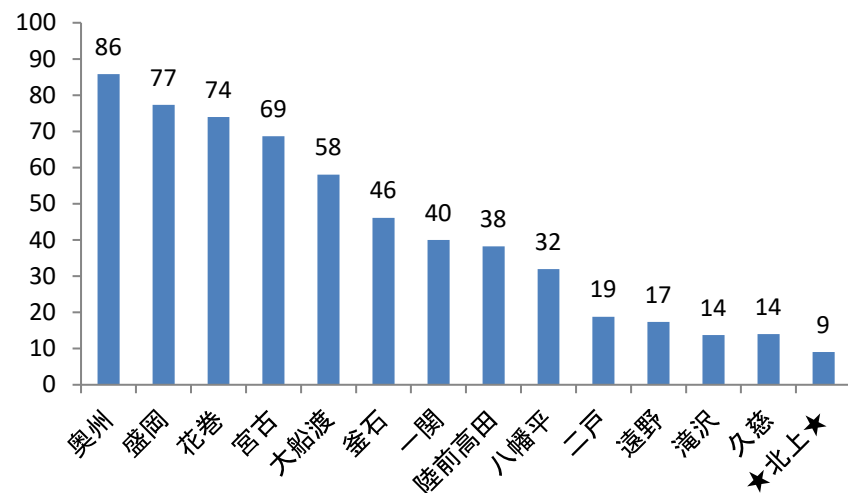
①積立基金残高(億円)



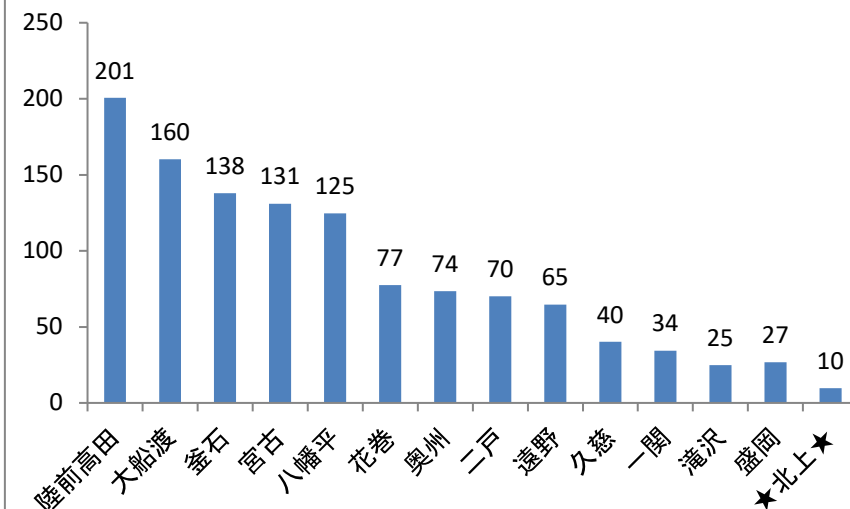
②市民1人当たり積立基金残高(千円)



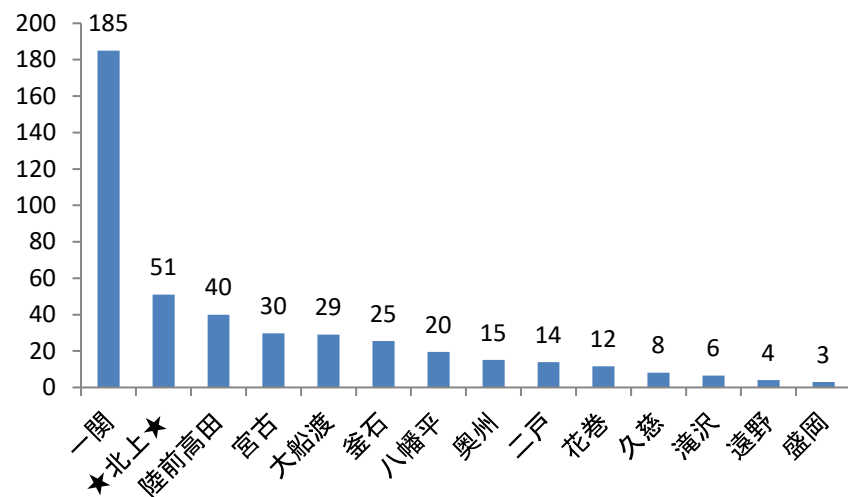
③財政調整基金残高(億円)



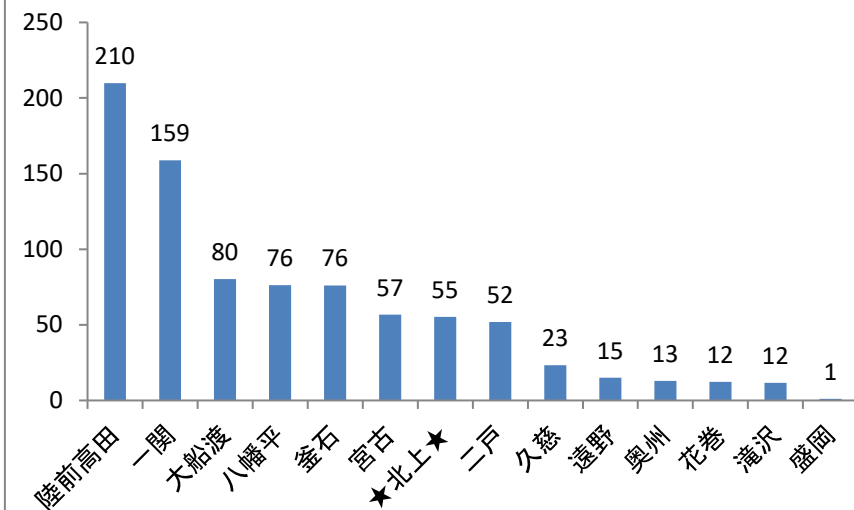
④市民1人当たり財政調整基金残高(千円)



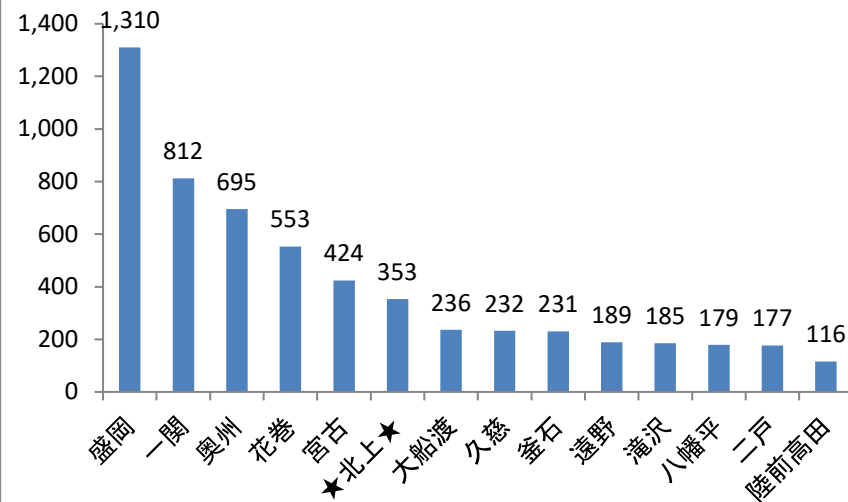
⑤減債基金残高(億円)



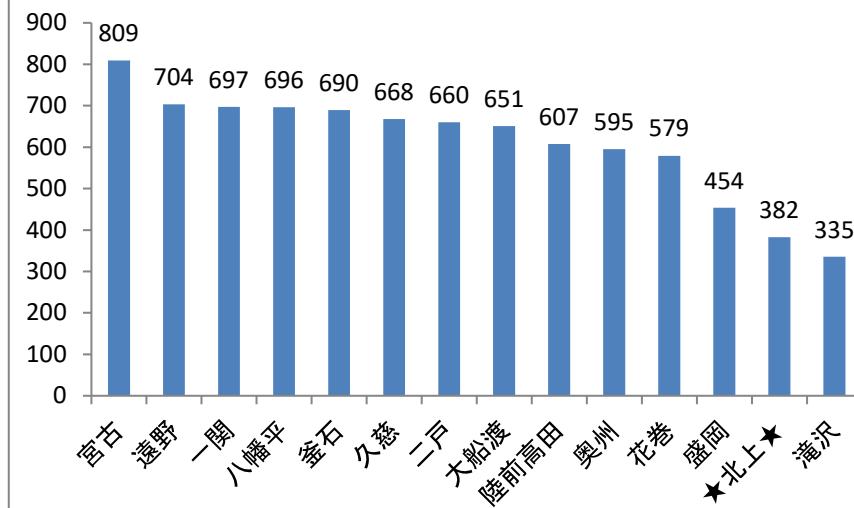
⑥市民1人当たり減債基金残高(千円)



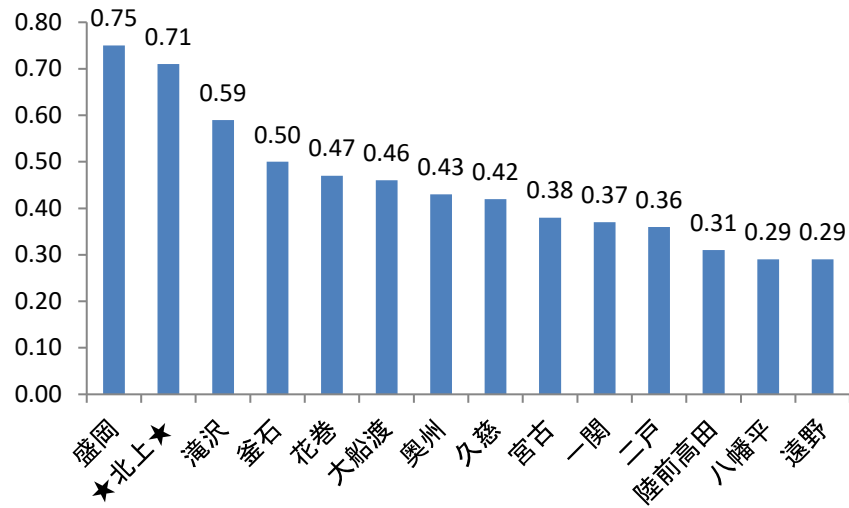
⑦市債残高(億円)



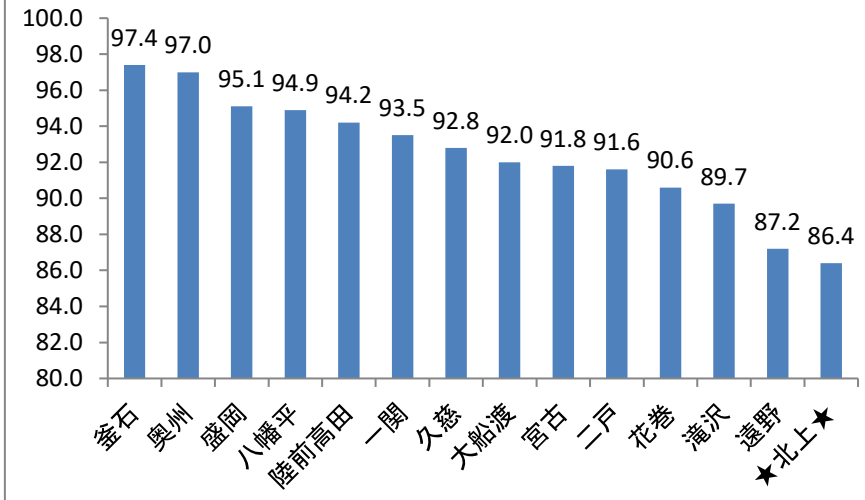
⑧市民1人当たり起債残高(千円)



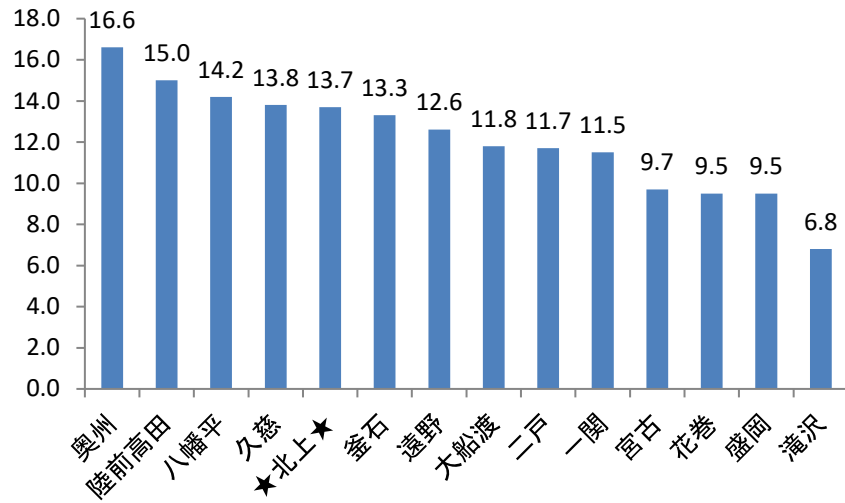
⑨財政力指数



⑩経常収支比率



⑪実質公債費比率



⑫将来負担比率

